

高知県内で初めて集落営組織から法人化へ 永久的に地域の農地と地域文化を守るために

【類型】 野菜 + 機械の共同利用 + 作業受託

【組織名】株式会社サンビレッジ四万十(平成26年7月設立)

【所在】高知県高岡郡四万十町影野

【農業地域類型】中山間農業地域

【構成戸数・人数】25戸・25人

【経営規模(令和5年度実績)】

露地ショウガ 1.2 ha

雨よけピーマン 0.29ha

その他作物 1.0 ha



高知県功労者賞受賞

設立の経緯

- 影野地区では、1戸当たりの経営規模が小さく、過疎・高齢化に伴う担い手不足により、今後の農地管理に危機感を持っていた。
- 平成9年頃から基盤整備事業の導入を機に、事業完了後の営農を話し合うための「影野の農業を考える会」を平成11年頃に立ち上げた。
- 平成13年2月に、1集落1農場方式の「ビレッジ影野営農組合」を設立し、平成22年2月に「農事組合法人ビレッジ影野」を設立した。
- 事業の多角化を図るため、平成26年7月に株式会社に組織変更した。

取組の特徴・効果

- 常時従事者3名を雇用し、収益向上に向けて露地ショウガなどの高収益作物に取り組んでいる。
- 環境への配慮や、資金繰りの安定等に向けて、営農型太陽光発電にも取り組み、低日照条件下で栽培可能な品目を試験している。
- 旧影野小学校区の広域で、地域農業を守る中山間農業複合経営拠点として「(一社)四万十農産」が平成28年4月に設立され、その構成組織の1つとして、農地の利用調整や、機械・施設の貸借、作業受委託等の組織間連携により、活動の一翼を担っている。

【具体的な取組内容】



- 経営基盤を確立し、地域の拠点へ。
 - 農業の収益性を高める
 - 営農型太陽光発電を開始
- 目指すは、売上高1億円。
- 雇を増やし、参加者が楽しく活動できる場。
- そして、永久に後継者が育つ環境づくり
- 目標は、「ここに住んで良かった」と思える集落づくり

法人のビジョン



露地ショウガの収穫作業



ピーマンのハウスと調製作業

【主な機械・施設】

機械・施設名	能力等	台数等
格納庫	84m ² 鉄筋	1棟
育苗施設	504m ²	1棟
トラクター	46PS、55PS	2台
ビニールハウス	12a、17a	2棟
ショウガ溝切機	4PS	2台
ショウガ畝戻し機	4PS	2台
ショウガハーベスタ	5.6PS	1台
ショウガ予冷库	39.68m ²	1台
ショウガ運搬車	10PS、積載1200kg	1台
予冷施設 (56m ²)	56m ²	1棟

【課題・今後の取組】

- 中山間農業複合経営拠点との円滑な連携の継続しながら、令和6年度から事業内容を変更し、地元農産物の加工や観光農園を主体に行い、地域内外から人が集まる仕組みを構築する。